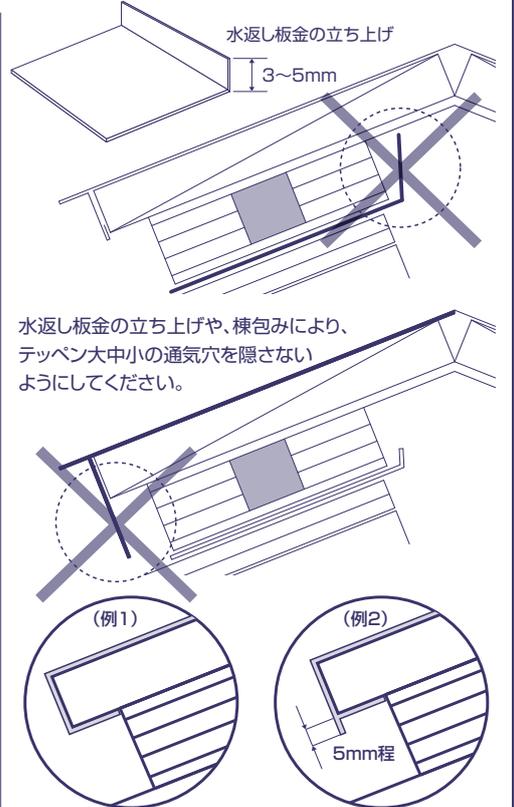
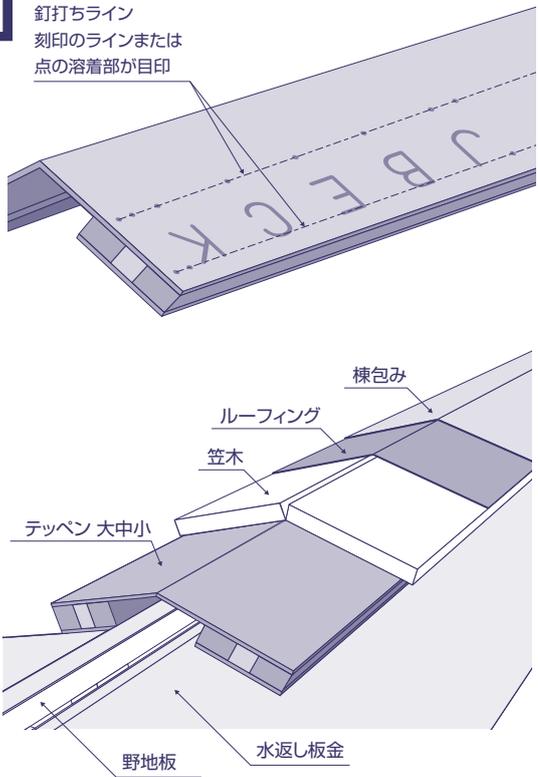
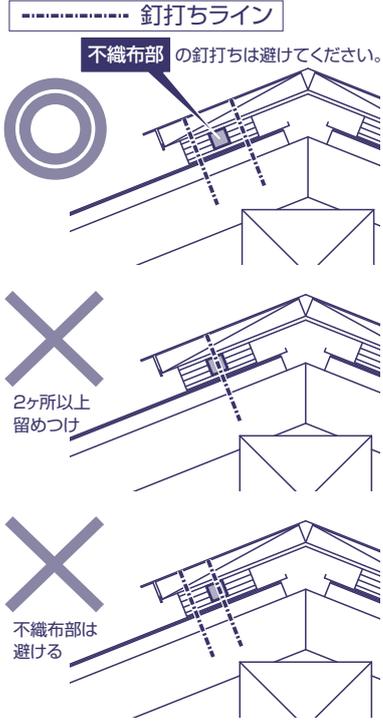


## 施工説明書

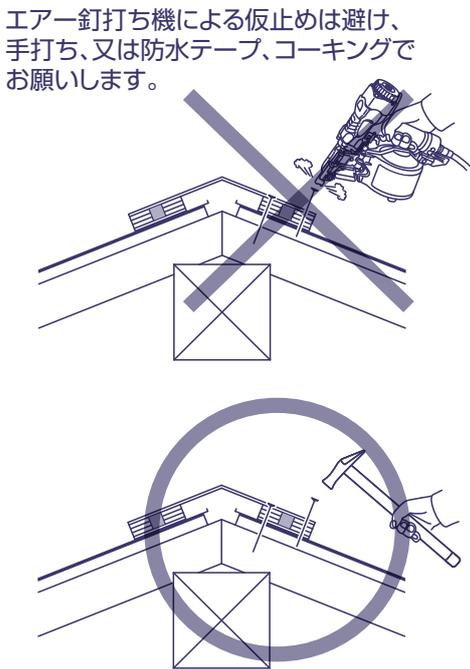
### 施工店様へのお願い 施工前に必ずこの説明書をお読みください。

#### 施工上の注意

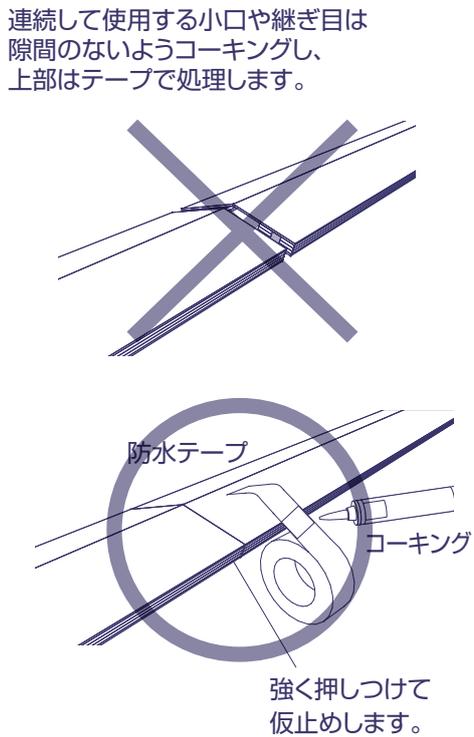


- 笠木は防腐処理したものが理想ですが、できない場合、ルーフィング又は防水テープで笠木を保護することをおすすめします。
- 継ぎ目や水返し板金との隙間は必ずコーキング処理をしてください。隙間があると雨の浸入の原因になります。
- 本留は笠木のそり防止のため必ずビス又はスクリーナ釘を垂木まで貫通させてください。

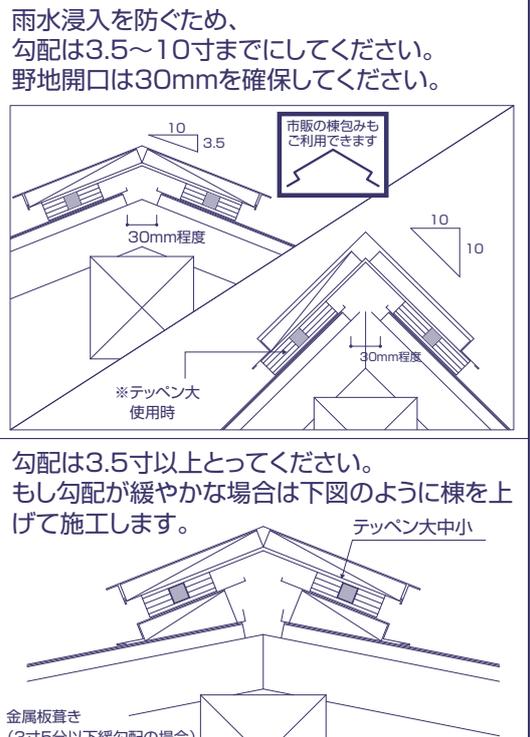
#### 仮止め



#### 小口処理



#### 勾配



## 安全上のご注意

◎安全のために必ずお守りください。

- ❗ 屋根工事は高所作業です。正しい服装と保護具を着用してください。
- ❗ 雨天時や屋根面が濡れている場合は、施工しないでください。滑り落ちる恐れがあります。
- ❗ 製品を屋根面に置く場合、ロープ掛け等滑落防止の処置をしてください。滑り落ちる恐れがあります。

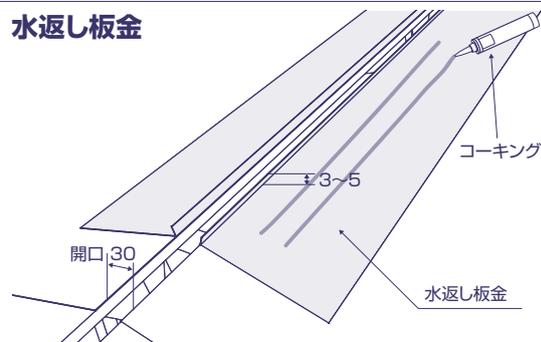
## 現場調達品

ステンレス釘、防水テープ、コーキング、笠木(厚15mm以上、幅任意)、水返し板金、棟包み、ステンレスビス、カラー釘 等

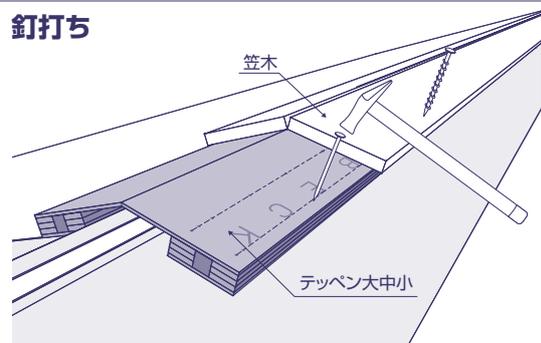
## 標準施工方法

- ① 棟頂部、野地板を30ミリ開口します。
- ② 立ち上げ3~5ミリほどの水返し板金を取付けます。
- ③ 屋根材を葺き上げていきます。
- ④ テッペン大中小取付け前に、水返し板金上部にコーキング材又は防水テープで止水処理します。
- ⑤ テッペン大中小を棟芯に合わせ、上から押えるように取付けます。
- ⑥ 継ぎ目や水返し板金との隙間をコーキングします。
- ⑦ ステンレス釘で、テッペン大中小を仮留めします。
- ⑧ 笠木を取付け、ステンレスビスで野地垂木を外さないようテッペン大中小を本留めします。
- ⑨ 笠木上部をルーフィング又は防水テープで保護します。
- ⑩ 棟包みを取付けます。側面からカラー釘で留めつけます。
- ⑪ 小口の折り返しや釘穴をコーキング処理します。
- ⑫ 完成です。

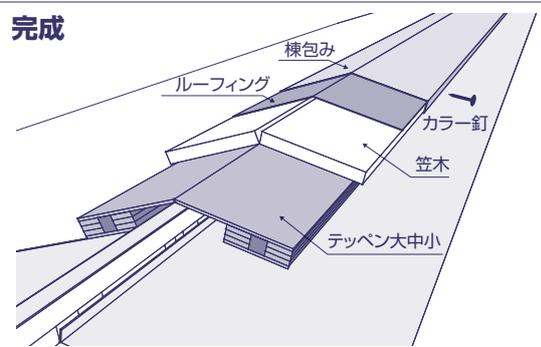
### 水返し板金



### 釘打ち



### 完成



## 仕様

有効勾配：Ⓐ 3.5~ 4寸

Ⓑ 3.5~ 6寸

Ⓒ 5.5~10寸

材質：耐候性ポリプロピレン+三次元不織布

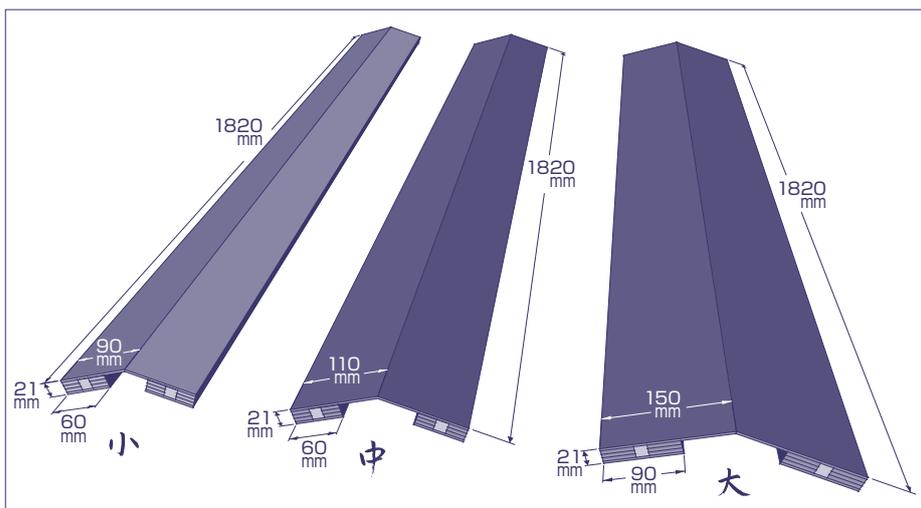
有効換気面積：557cm<sup>2</sup>/本

入数：5本

寸法：Ⓐ 21× 90(180)× 1820mm

Ⓑ 21× 110(220)× 1820mm

Ⓒ 21× 150(300)× 1820mm



Japan Building Envelope Conditioning Knowhow



**JBECK**  
ジェイベック株式会社



穏やかな室温と100年の耐久性を求めて

本社/新潟営業所 〒950-0863 新潟市東区卸新町1丁目2059-5  
TEL (025) 250-8900 FAX (025) 250-8877

札幌支店 〒007-0801 札幌市東区東苗穂1条2丁目3-9  
TEL (011) 781-8201 FAX (011) 783-6166

東北営業所(秋田) 〒010-1423 秋田市仁井田字大野1  
TEL (018) 892-6080 FAX (018) 892-6085

東京営業所 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-6-8 鈴木ビル  
TEL (03) 3357-5755 FAX (03) 3357-5589

大阪営業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町9-12第11マイダビル605  
TEL (06) 6368-2040 FAX (06) 6368-2041

九州支店 〒813-0044 福岡市東区千早2丁目31-14  
TEL (092) 674-3688 FAX (092) 674-3687

円山研究所[往雲館] 〒064-0944 札幌市中央区円山西町10丁目4-5  
TEL・FAX (011) 612-6335